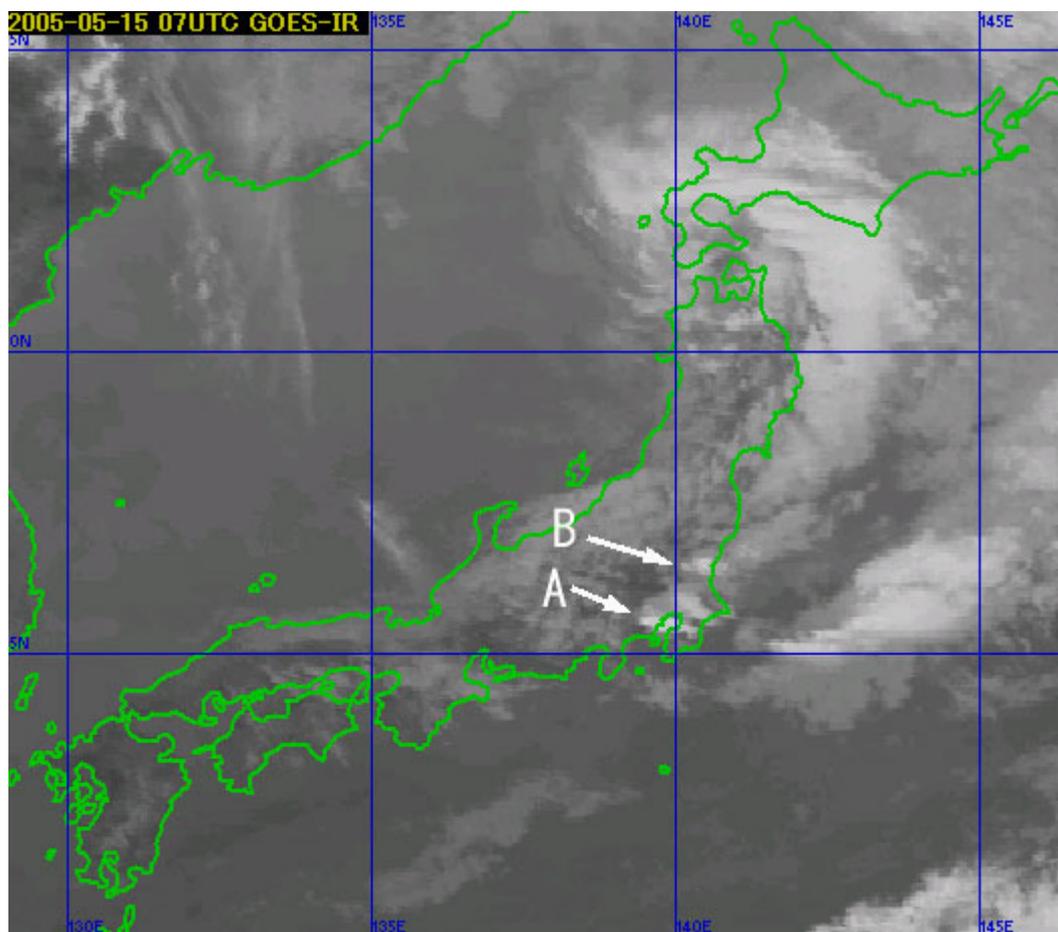


## 今月の気象衛星画像 (2005年5月)



2005年5月15日16時の赤外画像

### “初夏の嵐”首都圏を襲う

5月といえば関東地方では最も快適な時期とされているが、油断は禁物、突如として激しい気象現象に襲われることがある。5月15日に首都圏を襲った雷雨もそんな激しい気象現象の一つであった。この日、東京の代々木公園では散策中の男性が落雷により重症を負ったのはじめ、首都圏各地で落雷や突風による被害が生じた。

上の写真は、15日16時の気象衛星赤外画像である。A及びBと印したところにひときわ白く輝く雲が見られるが、この雲は発達した積乱雲で、この雲の周辺では落雷や突風など激しい気象現象が発生していた。この日は昼から夜にかけて上空の寒気が関東地方を東へ通過していて、これらの積乱雲は15時頃から埼玉県の西部山沿いや栃木県北西部で発生しはじめ、時速約37km(20ノット)の速さで発達しながら南東に進んでいった。また、この積乱雲の影響により東京八王子では16時頃雷雨が通過し気温が1時間で5℃程度急激に低下する現象がみられた。

(気象衛星センター)